

会社情報及び株式の概況

会社概要

会社名	北越紀州製紙株式会社
設立	明治40年4月27日
本店所在地	新潟県長岡市西藏王三丁目5番1号
資本金	42,020,940,239円
従業員数	4,769名(連結) 1,544名(単体)
URL	http://www.hokuetsu-kishu.jp

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数	500,000,000株
発行済株式総数	189,478,732株(自己株式19,785,082株を除く)
株主数	12,159名

役員 (平成29年9月30日現在)

代表取締役社長 CEO	岸 本 哲 夫
常務取締役	鈴木 裕
常務取締役	川島 嘉則
常務取締役	尾畑 守伸
取締役	山本 光重
取締役	関本 修司
取締役	内山 公男
取締役	近藤 保之
取締役	立花 滋春
取締役(社外取締役)	岩田 満泰
取締役(社外取締役)	中瀬 一夫
常勤監査役	堀川 淳一
常勤監査役	真島 馨
監査役(社外監査役)	糸魚川 順
監査役(社外監査役)	渡邊 啓司

大株主の状況 (平成29年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱商事株式会社	36,619	19.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	23,108	12.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,979	4.74
北越紀州持株会	5,243	2.86
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,499	2.37
株式会社第四銀行	4,317	2.28
株式会社北越銀行	4,315	2.28
川崎紙運輸株式会社	4,286	2.26
株式会社みずほ銀行	3,600	1.90
農林中央銀行	3,554	1.88

(注) 1. 当社は自己株式19,785千株を所有しておりますが、大株主からは除外しております。
2. 上記「大株主の状況」の持株比率は、自己株式数を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当9月30日)
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 http://www.hokuetsu-kishu.jp/koukoku.html やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、新潟市において発行する新潟日報および東京都において発行する日本経済新聞に掲載致します。

株式に関するお問い合わせ先

証券会社等の口座に記録された株式(一般口座)	お取引の証券会社等
特別口座に記録された株式	※みずほ信託銀行 証券代行部 お問い合わせください。

※みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
(電話) 0120-288-324 (フリーダイヤル)

○単元未満株式【買増制度】【買取制度】のご案内

当社は、単元未満株式について【買増制度】(1単元(100株)未満の株式を所有されている株主様が、1単元にするために不足分を買い増すことができる)と、【買取制度】(1単元未満の株式を所有されている株主様の株式を当社が買取り、処分することができる)を導入しております。お手続きにつきましては、上記お問い合わせ先にご連絡ください。

○配当金のお支払いについて

第180期中間配当金は同封の「配当金領収証」によりお受け取りください。払渡期間は、平成29年12月4日から平成30年1月5日までとなります。

また、配当金の口座振込をご指定の方は、同封の配当金関係書類をご確認ください。

第180期 第2四半期 株主レポート

(2017年4月1日～2017年9月30日)

北越紀州製紙株式会社

証券コード 3865



株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
第180期第2四半期決算についてご報告申し上げます。

◇業績の概況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益及び雇用情勢の改善が続き、景気は緩やかに回復基調が続いているものの、米国政権の経済政策の動向、中国をはじめとするアジア新興国等の景気の先行きなど海外経済の不確実性の影響により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループにおきましては、売上高は増収となったものの、損益面では、営業利益は原燃料価格の高騰等により減益となりましたが、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は為替差損益の改善等があり増益となりました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高132,445百万円(前年同四半期比0.1%増)、営業利益4,562百万円(前年同四半期比26.3%減)、経常利益6,945百万円(前年同四半期比61.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,362百万円(前年同四半期比63.6%増)となりました。

◇中間配当について

当社は、長期安定的な企業価値向上に向けた成長投資を継続するために、財務健全性、資本効率性、株主還元のバランスを鑑みた資本政策を実施し安定かつ継続的な配当を行うことを「資本政策に関する基本的な方針」としております。この方針に基づき、当期の業績及び当面の業績予想並びに配当の安定性などを総合的に考慮した結果、第180期中間配当金は、1株につき6円とさせていただきます。

なお、年間配当金は12円を予定しております。



代表取締役社長 CEO

岸本 哲夫



第2四半期連結決算のご報告

四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (2016.4.1～2016.9.30)	当第2四半期累計期間 (2017.4.1～2017.9.30)
売上高	132,319	132,445
営業利益	6,187	4,562
経常利益	4,306	6,945
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,277	5,362

四半期連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	前会計年度 (2017.3.31)	当第2四半期会計期間 (2017.9.30)
流動資産	139,598	143,441
固定資産	222,606	222,788
資産合計	362,205	366,229
流動負債	83,564	81,183
固定負債	97,605	98,403
負債合計	181,170	179,587
純資産合計	181,034	186,642
負債純資産合計	362,205	366,229

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (2016.4.1～2016.9.30)	当第2四半期累計期間 (2017.4.1～2017.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,340	13,179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,430	△5,169
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,876	△3,006
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,542	24,307

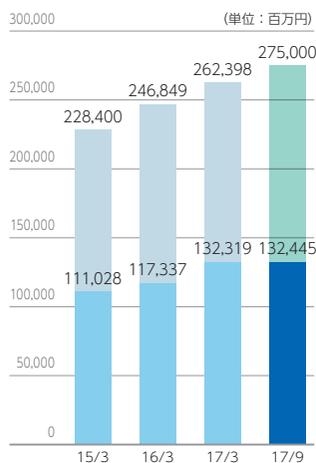
連結財務ハイライト (主要指標のグラフ)

■ 通期 ■ 第2四半期 ■ 当期 ■ 通期予想

売上高

132,445百万円

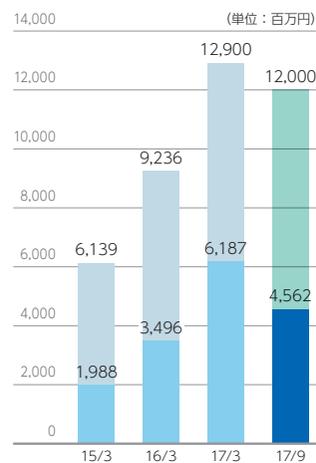
(前年同四半期比) +0.1%



営業利益

4,562百万円

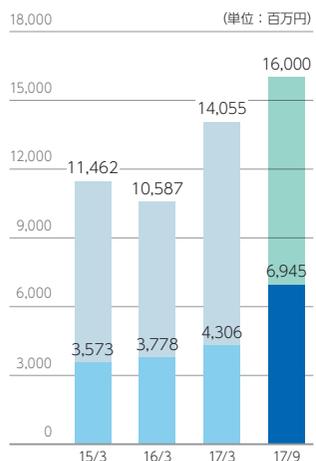
(前年同四半期比) ▲26.3%



経常利益

6,945百万円

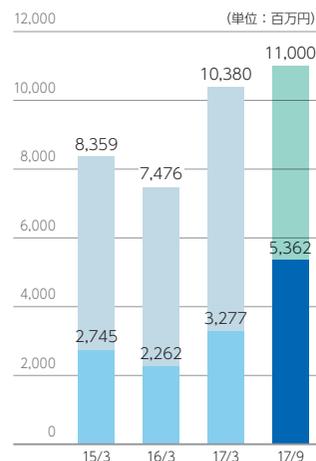
(前年同四半期比) +61.3%



親会社株主に帰属する四半期純利益

5,362百万円

(前年同四半期比) +63.6%



TOPICS

セルロースナノファイバー (CNF) ゲル強化材料

当社は、CNFゲルでセルロースを強化した新しいコンセプトのCNF強化材料を、10月19日に静岡県富士市で開催された「ふじのくにCNF総合展示会」で初めて披露しました。従来CNF強化材料は、木材パルプ繊維に大きな外力を加えてナノサイズに分解し、他材料と組み合わせで複合化させていました。これに対し、当社の方法は、機械処理工程を省き、化学薬品処理のみでパルプ繊維をナノ化させ (CNFゲル化)、さらにCNF単体を取り出すことなく、セルロース100%の成形体に至る理想的な一貫プロセスになります。製造工程が大幅に簡略化されることで、コストダウンが期待できます。この方法は他の分野で使われていた既存技術を先端科学の力で突き詰めることにより生み出された、まさに温故知新の技術です。すでに工業化された技術の上に成り立っており、安定して供給することができます。

このCNF強化材料は、一般的なプラスチックよりも高強度であるので、スポーツ用具、家具、建材などの構造材料に使用することが期待できます。



CNFゲルの外観

森林認証紙・森林認証パルプの生産・販売について

当社は、洋紙・白板紙・特殊紙の全紙種で森林認証紙を生産・販売しております。さらに本年12月より、新潟工場において生産する森林認証紙のラインナップを拡充して販売いたします。また、カナダ子会社のAlberta-Pacific Forest Industries Inc. が管理する広大な森林の木材を原料として同社が生産するパルプは、環境配慮型の森林認証パルプです。当社グループは、紙製品及びパルプにわたって、東京オリンピック・パラリンピックをはじめとした、今後の世界的な森林認証紙・森林認証パルプのニーズにお応えしてまいります。



責任ある森林管理のマーク